

い は き 新 報

發行日 五月廿五日(三回)
 福島縣石城郡平町長崎町四七
 發行所 いはき新報社
 編輯兼發行人 高木喬
 印刷 高木喬
 本紙定價 一月十錢 三月廿錢
 廣告料 一行情 五十錢
 場所指定 十錢増

謹

先般第二回シヨウウキンド並に店頭裝飾競技大會開催に際し
 平町長伏見彦衛氏、審査長鈴木邦三郎氏、各町會議員在平記
 者團並に一般有志諸彦の絶大なる御賛助と御後援を蒙り御蔭
 を以て盛大裡に終了いたしました事は本社の榮譽と衷心感謝に堪
 へませんことに厚く御禮申し上げます

告

い は き 新 報 社
 高 木 喬

事業と人物

ウインド裝飾競技大會に

輝く町長大カツプを射た

正札主義のツルヤ洋品店

商賈繁昌の根本は奉仕の精
 神と正札主義で堂々とやつ
 てゐる鶴屋洋品店では常に
 お客様の便利を考へ、毎日大
 戸を開けるにも下すにも、
 どうしたらお客様に都合よい
 かウキンドに商品を裝飾す
 るにもチラシ廣告一枚作る
 にしても或ひは一品の仕入
 を行ふに當つても品を賣る
 にしても其悉くが奉仕の精
 神から出發してゐる正札主
 義について店主猪狩庄平氏

は左の如く記者に語つた
 「平の正札は嘘の正札が
 多いと言はれた事がある
 ので十五年ばかり前か
 ら自分が犠牲になり罵聲
 を浴びながらどうやら正
 札主義を一貫して來まし
 た、始めの中は親戚の間
 ぢやないか負けるのが當
 然だと言ふやうな事も言
 はれましたが最近では一
 人も無くなりました」云
 々

醫員協力一致の

増田醫院

院内常に

患者に満

人氣と評判の中心である平
 町南町増田醫院耳鼻科醫院を
 世人が推讃の辭を惜しまな
 い所以のものは同醫院が常
 に其方針堅實を主として患
 者には公平親切を旨として患
 者た爲めて絶えず患者を以
 て満たされ隆々發展の途を
 辿りつゝあるは少壯醫學士
 増田院長及び看護婦諸員が
 協力一致の實を擧げてゐる
 結果に負ふ處が多く一度同
 醫院を訪ふ者は院内常に和
 氣霽んの情漲るを見得であ
 らう

山崎父子の徳望を積んで 萬代動かぬ山崎合名會社

來歴は古く品新らしい食料品

天保十一年の古き歴史を有
 し地方稀に見る老舗山崎合
 名會社は實質的名譽を謳は
 れつゝ九十箇年三代を経て
 現在に至つたのであるが當
 代山崎與三郎氏は徳望の聲
 を高く誠實本意に一步一步
 堅實な基礎を作り上げヤマ
 フルの聲價は破竹の勢力を
 以て本縣第一等の醸造商を
 示すに至つたものである、
 現主人山崎清三氏は克く嚴
 父與三郎氏の徳をつぎ早大
 出身の少壯有爲の紳商で新
 進鋭の才腕内よく五十餘名
 の店員を指揮統帥し外によ
 く平商工會長として石城在
 郷軍人聯合分會長として益
 々信用高め來り、先般軍人
 勅諭御下賜五十周年記念祝
 典に際し多年石城在郷軍人
 聯合分會長として終始一貫
 盡力せられた功勞を思召さ
 れ畏も天杯並に賞牌を御受
 けられたがこれは一門の名
 譽たるしみなならず郷土の誇
 である高評されてゐる因
 にウキンド裝飾競技大會に
 は第二位の榮冠を射とめ月
 桂冠を凌ぐ銘酒榮冠たひら
 を首め品質最も優良なる饅
 節その他食料品の販賣に眞
 心を罩めてゐるが流石一流
 の商法による同店は各品と
 も勉強の二字に盡き、日に
 一々千客萬來の繁昌を見て
 ゐる

第二位の榮冠を得た

信用と技術優秀が併行の

大谷時計病院

常磐地方時計商中の老舗と
 して信用篤き大谷時計病院
 院長大谷武雄氏は日本時計
 商組合東北支部長、平町時
 計商組合長として絶大の職
 性を以て盡瘁する事が一般
 の氣受けもよく、營業は根
 本より一大改善し内外の面
 目を改め飽くまで客本意に
 最も優秀なる品を然も安價
 に提供の出來る事と多數の

店頭裝飾技術大會

榮譽ある町長杯を得た
 既製品王なかや洋服店

本縣下の既製品王なかや洋
 服店主永山小平氏は温厚の
 中にも一家の見地を有し堅
 實の一面に進んで斷行する
 の勇氣あり手腕敏活營業に
 忠實にして然もなかやの商
 號に附するの大商店を新築
 店內の商品は一つ一つ奉仕
 の眞心を罩め仕入れたもの
 でどれを手にしても、まや
 かしい物はない十圓の品に
 は十圓以上の眞價があり五
 圓の品にも五圓で求められ
 る最上の効用があると一般
 に評されてゐる、先般の店
 頭裝飾競技大會には榮譽あ
 る平町長杯を贏ち得た

射しはさんくと

壽々喜亭の

錦祥さんへ注ぐ

初夏の陽
 弛んだ蒸暑い聚樂館内へ牙
 えた鋭い拍子木が響き入る
 スル／＼と幕が上がる
 「こゝもとお聞きに達
 します淨瑠璃外題、近
 頃河原邊引、相動ます
 は竹本錦祥三味線鶴澤六
 太郎、先づはいよお俊傳
 兵衛堀川の段、東西東西
 百目蠟燭に照されお頭髪も
 残りすへなな漂ふて仲秋の
 月がはみ出た様に見える頭
 蓋骨を赤々とした地肌が白
 い房の下つた見臺からツト
 顔を上げる
 デン／＼デン
 と太い桿から前彈きの幽艶
 な音色が廣がる
 おなじ都も世につれて、
 田舎が増の薄煙、堀川邊
 に住居して後家の操も立
 つ月日、琴三味線の指南
 屋も、合の手ひつれ氣も
 つれを保養がてらの藥風
 呂……と
 (五月廿一日記高木荷香生)

低い力のある聲が錦祥さん
 の咽喉から流れ出る
 そりや聞えませぬ傳
 兵衛さんお詞無理とは思
 はねども……
 と人情の機微を穿つた口説
 にかゝるあたり城内はもう
 陶然と酔つてゐる、音曲の
 司、義太夫の持つ魅力……
 たとへそこに取扱はれるも
 のは義理人情の世界であら
 うとも常に筆者等を恍惚と
 せしめずにはゐない、當磐
 義太夫界の花形壽々喜亭の
 錦祥さんのかたぬき姿は義
 太夫の醸し出す雰圍氣にび
 つたり合致した古風な華や
 かさといふものです、また
 當日の花形豊間料理屋組合
 長宮内菊次郎氏、宮古さん
 の日吉丸三段目にも城内は
 陶然とした。

東西消息

諸橋元三郎氏 不相變店頭にコッ／＼働き、閑あることゝ讀書に耽る、酒もやるが身体強健、變りなし

片倉磐城製糸辰野賢造氏は赴任以來會社の向上を計る事に餘念なく其成績極めて優良を示して取引關係者に温かい感じを與へてゐる

小野晋平氏 小名濱大敷網を極めて組織的に經營されたため今夏は優良な成績を挙げられるであらうと期待されてゐる

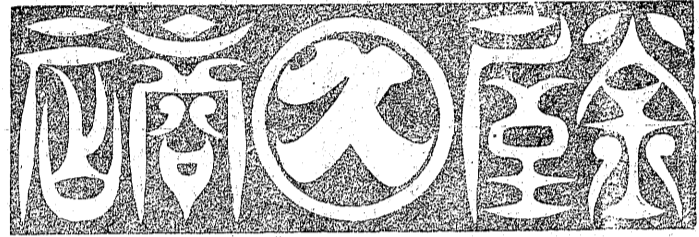
平撞好會 先般平撞球愛好家四十數名末廣亭に於て平撞好會創立總會を開催したが役員左の如し

(會長)山野邊義政(副會長)高木喬(會計)井坂久吉 比佐三郎(幹事)白土喜伯 小齊五郎 本間三郎(顧問)千葉彦治 白井三郎

在平記者聯盟 同聯盟では先般春季總會を奴樓上に開催したが當日の協議事項は
公共事業に關する件、基本金造成の件、役員選舉の件

役員は左の如し
(常任幹事)高木喬 市島範三(理事)馬場林島 高橋憲太郎 北川秀雄 長谷川兵衛 佐藤與全(會計)渡邊源吉 安澤榮作(相談役)齊藤岳洞 大和田與平 馬目雅治
因に聯盟主催、若葉會後援のもとに義太夫大會を開催す、近々發表

和洋銅鐵金物問屋



目五五手
番九九番九話電

千葉彦治

三社系申八

セメント 材料 磐城セメント株式會社
壁用材料
コールタール 代理店 西村屋藥舖
ペンキ塗料
板 ガラス 平町二丁目電三

内科小兒科・花柳病科

藤沼醫院

院 需 應

平町紺屋町
電話五〇七番

買仔仔店
良品の安ク賣ル

クースーリ

関内藥舖
薬剤師 関内栄助
電話四〇番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町田町 電話五一三番

代理店新設

當地方に古き關係の深い而も業績のよい安心の出来る 健實なる 有隣生命 保險株式會社の代理店を引受けました。何卒御利用の程を御願ひ致します。

有隣生命保險株式會社

平城北代理店主幹 佐々木龍若
附屬社員 志賀 寛

衛生第一

岡田牛乳舎

主岡田千藏
電話一〇番

美味!

芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

淋病 梅毒

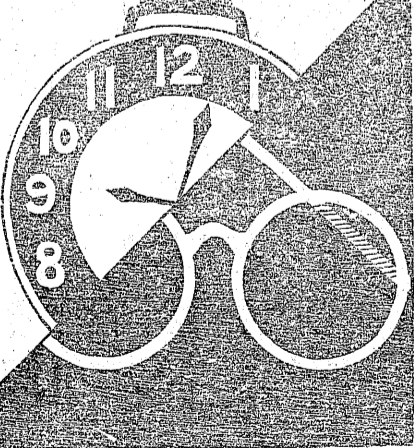
淋病 皮膚病 婦人病
門專 十二指腸 腸胃病
院醫科 腸胃病 胃性
七〇一話電 町南平

家具漆器類
特別大勉強
和久井屋
平町一丁目
電話四〇五

大村一郎

正確な時計

平一常盤屋時計店



好適の眼鏡

お客様本位の